



今月の注目データ



「天然記念物」の指定数

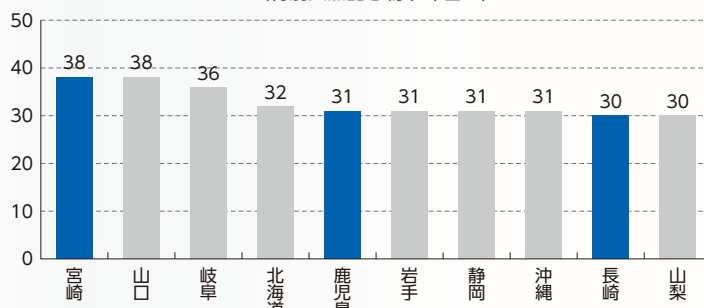
日本には、活発な火山活動等によって起伏に富んだ地形が形成されていることや、南北に長く、気候が亜寒帯域から亜熱帯域まで広がっていること等を背景に、多様性に富んだ自然環境が広がっています。そして、その豊かな自然資源(※)のなかでも学術上の価値が特に高く重要なものとして、文化財保護法に基づき指定されているのが「天然記念物」です。

その天然記念物の指定数(国指定)を都道府県別に見てみると、宮崎県が全国で最も多くなっています。宮崎県では観光名所としても有名な「青島」「都井岬」「高千穂峡」に加え、街中にある樹木も数多く天然記念物に指定されています。天然記念物「去川のイチョウ」のある宮崎市高岡町では、毎年紅葉の時期にイチョウをライトアップして観光客誘致を図るなど、天然記念物を活用した地域振興の動きも見られています。

天然記念物は身近なところにも数多く存在しています。これから訪れる秋の行楽シーズン、お近くの天然記念物を訪ねてみてはいかがでしょうか。

(※)天然記念物の指定対象となる自然資源:「動物(例:イリオモテヤマネコ)」、「植物(例:屋久島スギ原始林)」、「地質鉱物(例:秋吉台)」及び「保護すべき天然記念物に富んだ代表的な一定の区域(例:尾瀬)」

「天然記念物」の指定数
(特別天然記念物(※)含む)



(出所:文化庁公表データ(平成28年9月1日時点)を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)(※)特別天然記念物:天然記念物のなかでも特に重要なものとして指定されているもの



2016年の猛暑日数

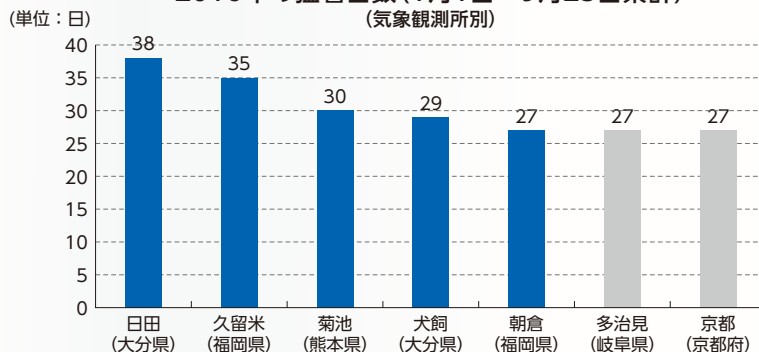
今年の夏はうだるような暑さが続きましたが、9月の中旬頃からようやく過ごしやすい気候の日が増えてきました。各地の気象観測所で観測された今年の猛暑日(※)の日数を見てみると、日田(大分県)の38日を筆頭に、久留米(福岡県・35日)、菊池(熊本県・30日)などが上位を占めており、今年は特に九州北部地域が猛暑に見舞われていたことが分かります(2015年に猛暑日の多かった観測所は館林(群馬県・29日)、多治見(岐阜県・25日)等)。

気象庁によると、7月から8月にかけて、例年中国大陸を中心に広がっている高温のチベット高気圧が九州北部付近にまで張り出してきたこと等により、気温の高い日が続いたようです。

この猛暑により、鉄道の線路がゆがんで運休になる等、各地で様々な影響があった一方、エアコンや飲料水、アイスクリームの売上が伸びるなど、経済活動にとってはプラスの面も見られました。

(※猛暑日:最高気温が35度以上の日)

2016年の猛暑日数(1月1日～9月25日累計)



(出所:気象庁「過去の気象データ」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しの動きがみられる

福岡県の景気は、持ち直しの動きがみられます。

住宅建設及び公共工事は前年を下回ったものの、生産活動は熊本地震の影響からほぼ回復し、海外向け新型車の生産開始等により四輪自動車の生産が増加した輸送機械が上昇する等、持ち直しの動きがみられます。また個人消費についても、夏のクリアランスセールが好調だったほか、猛暑日が続いた影響により、夏物商品を中心とした衣料品が前年を上回りました。

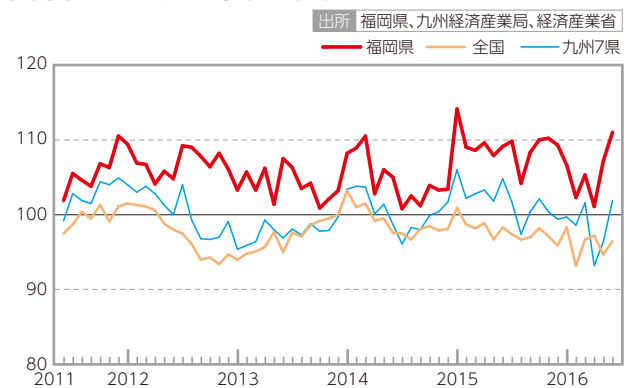
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は111.0と前月比3.5%上昇しました。

熊本地震の影響からほぼ回復し、海外向け新型車の生産開始等により四輪自動車の生産が増加した輸送機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2.個人消費 | 持ち直しの動きがみられる

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.7%増の624億円となりました。

消費マインドは震災の影響がほぼ解消され、夏のクリアランスセールが好調だったほか、猛暑日が続いた影響により、夏物商品を中心とした衣料品が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きがみられます。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



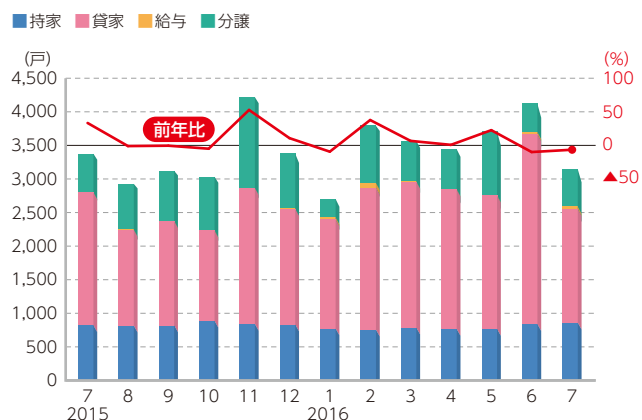
3.住宅建設 | 2カ月連続で前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比6.8%減の3,168戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも2カ月連続で前年を下回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



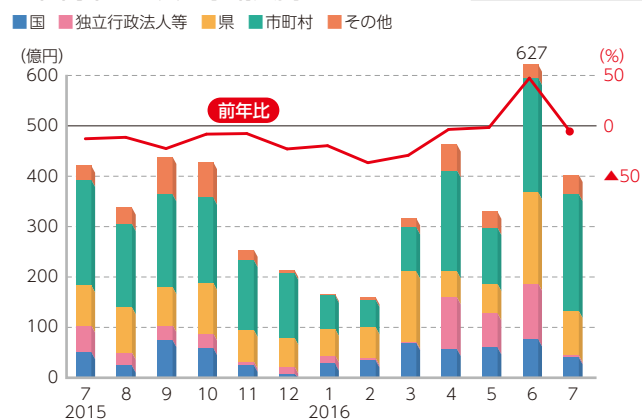
4.公共工事 | 2カ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.9%増の773件、金額が同5.5%減の401億円となりました。

発注者別では、スポーツ施設改築工事の大型案件があった「県」等が前年を上回りましたが、「独立行政法人等」が前年を大きく下回り、全体でも2カ月ぶりに前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比14.3%減の24件、負債総額は同40.2%減の約21億円となりました。

食肉加工業で5億円の倒産が発生しましたが、倒産件数、負債総額ともに前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 熊本地震の影響からほぼ回復し、持ち直しの動きがみられる

熊本県の景気は、熊本地震の影響からほぼ回復し、持ち直しの動きがみられます。

公共工事は2ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、生産活動は熊本地震で被災した工場の復旧が進んだことにより、特殊産業機械が増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、持ち直しの動きがみられます。また個人消費も、主力の衣料品が前年を上回る等、持ち直しの動きがみられるほか、住宅建設についても3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

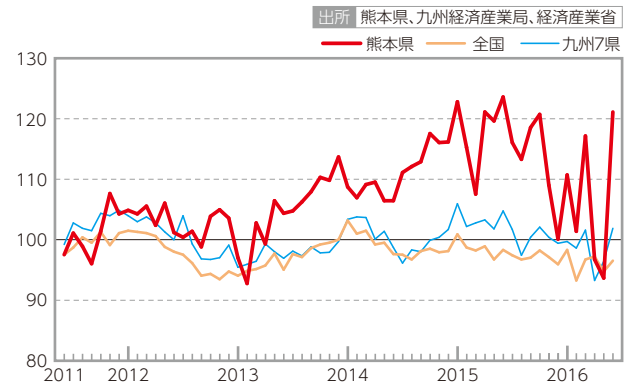
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は121.3と前月比29.6%上昇しました。

特殊産業機械が増産となったはん用・生産用機械や、医薬品の生産が増加した化学が上昇する等、熊本地震で被災した工場の復旧が進んだこと等により、生産は持ち直しの動きがみられます。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2.個人消費 | 持ち直しの動きがみられる

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.5%増の147億円となりました。

主力の衣料品が前年を上回ったほか、熊本地震の復興支援に対するお礼としてギフト商品が増える等、地震からの復興需要等を背景に、個人消費は持ち直しの動きがみられます。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



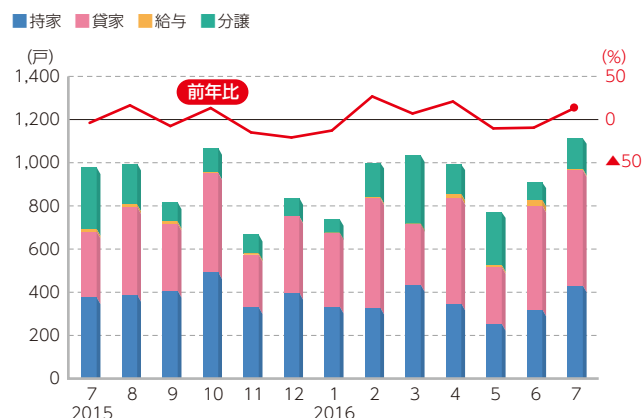
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比13.8%増の1,122戸となりました。

「分譲(マンション)」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



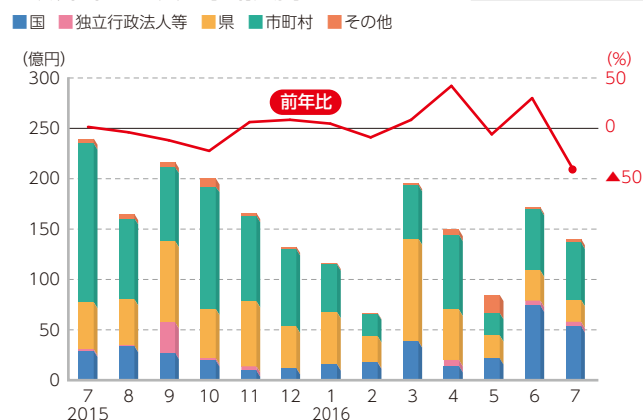
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比27.9%減の379件、金額が同41.5%減の142億円となりました。

発注者別では、震災復旧工事があった「国」等が前年を上回りましたが、「県」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



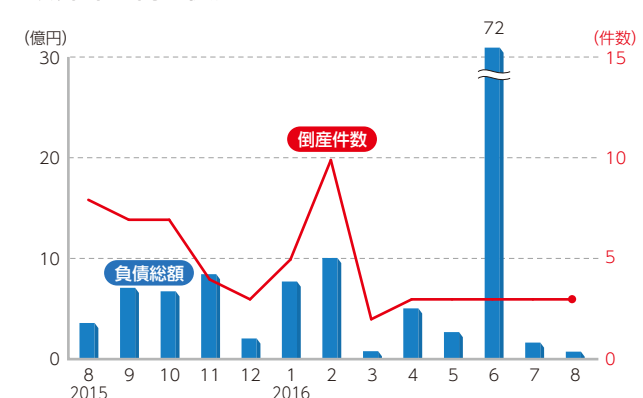
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比62.5%減の3件、負債総額は同79.3%減の約8千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 弱含んでいる

長崎県の景気は、弱含んでいます。

生産活動は半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下する等、弱含んでおり、個人消費についても主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、弱含んでいます。また、住宅建設及び公共工事も前年を下回りました。

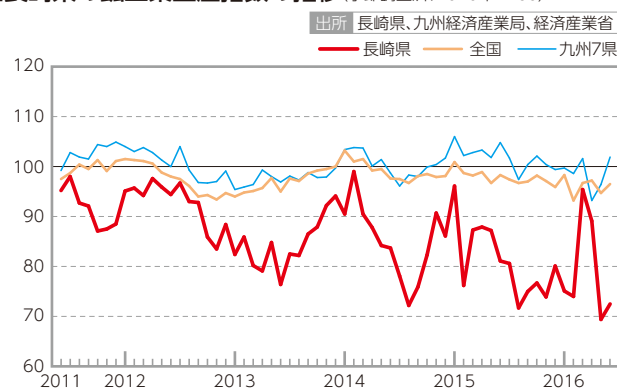
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含んでいる

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は72.5と前月比4.5%上昇しました。

主要業種では、修繕船が増産となった輸送機械は上昇したものの、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下する等、生産は弱含んでいます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

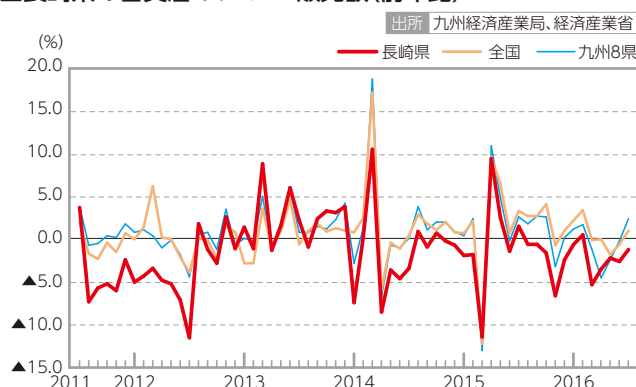


2.個人消費 | 弱含んでいる

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.3%減の102億円となりました。

消費マインドは震災の影響がほぼ解消したものの、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含んでいます。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





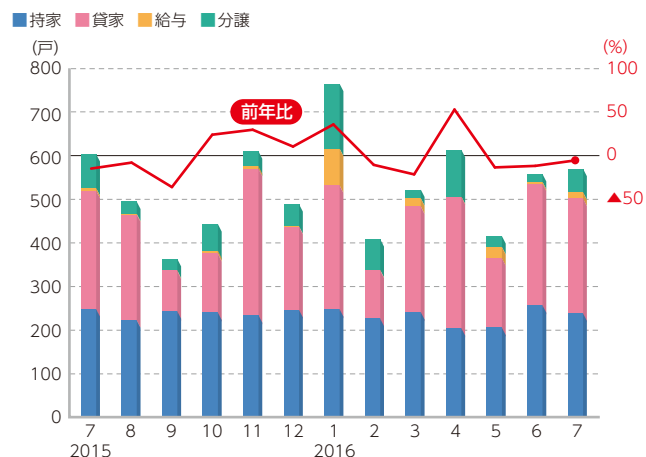
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比5.6%減の575戸となりました。

「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも3ヵ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



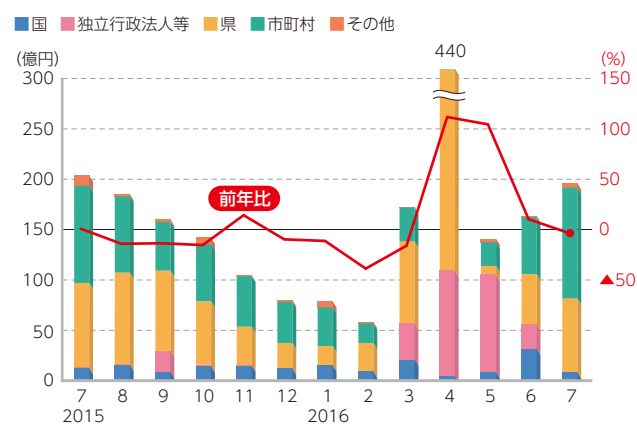
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比10.0%減の505件、金額が同3.7%減の198億円となりました。

発注者別では、防災設備工事の大型案件があった「市町村」が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」「県」「その他公共的団体」が前年を下回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



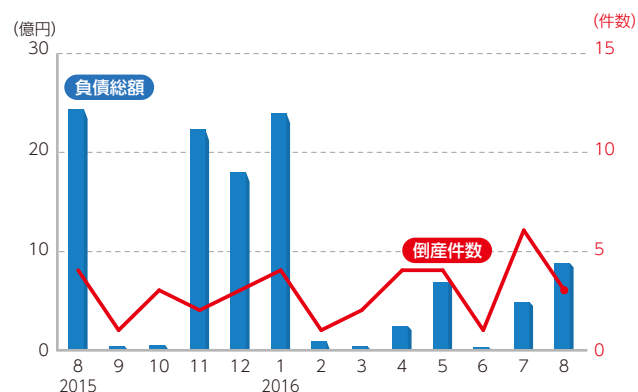
5.企業倒産 | 負債総額は前月を上回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%減の3件、負債総額は同63.9%減の約9億円となりました。

経営コンサルタント業で8億円の倒産が発生するなど、前月と比較すると負債総額は上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 持ち直しの動きがみられる

佐賀県の景気は、持ち直しの動きがみられます。

生産活動は化学や輸送機械が上昇する等、持ち直しの動きがみられ、個人消費についても、夏のクリアランスセール等が好調で、主力の飲食料品が前年を上回りました。また、住宅建設及び公共工事も2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

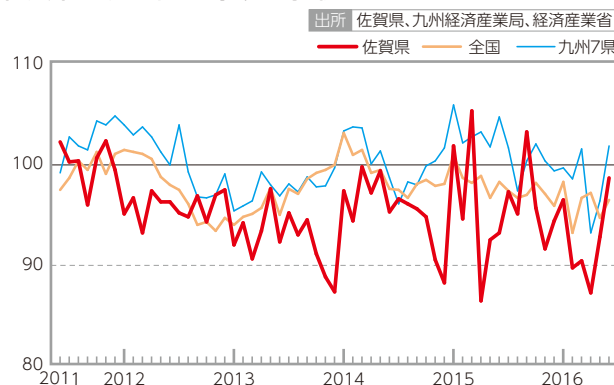
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.7と前月比6.4%上昇しました。

熊本地震の影響からほぼ回復し、化学や輸送機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

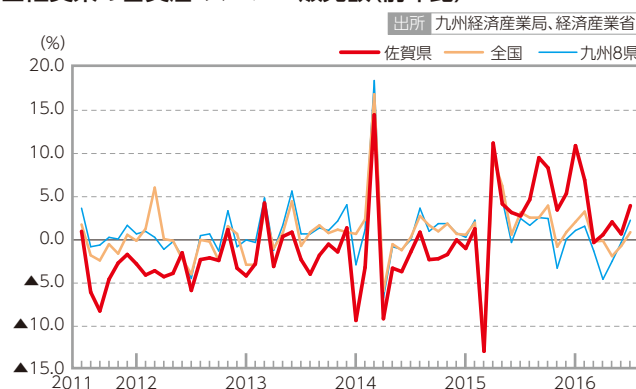


2.個人消費 | 持ち直しの動きがみられる

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.0%増の58億円となりました。

夏のクリアランスセール等が好調で、主力の飲食料品が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きがみられます。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





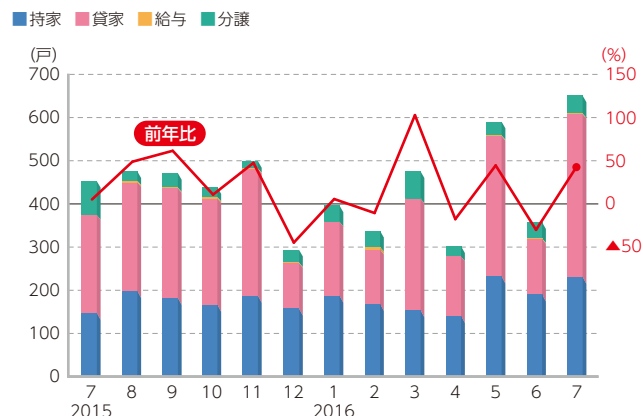
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比43.9%増の656戸となりました。

「分譲(マンション)」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



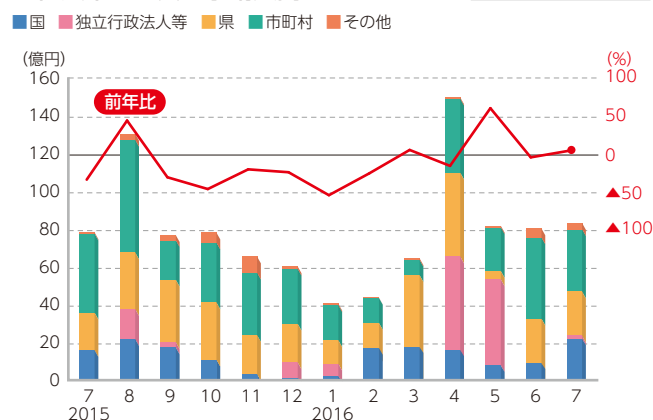
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比3.4%増の240件、金額が同6.3%増の84億円となりました。

発注者別では、農地防災工事があった「国」や、河川改修工事があった「県」等が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



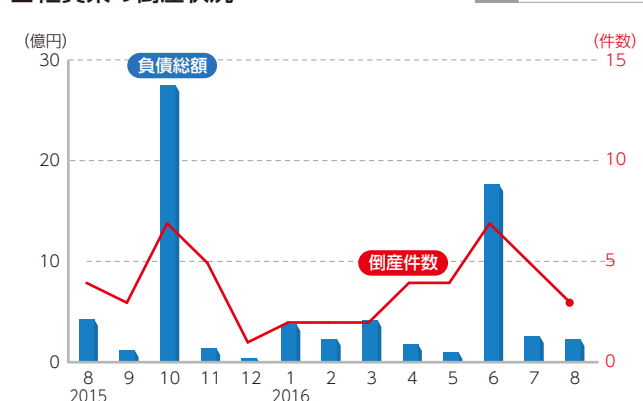
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%減の3件、負債総額は同47.6%減の約2億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移している

大分県の景気は、底堅く推移しています。

住宅建設は3ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、生産活動は農産物の生産が増加した化学・石油製品が上昇する等、底堅く推移しており、個人消費についても、熊本地震の復興需要等を背景に、夏のクリアランスセールが好調で、主力の衣料品や飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きがみられます。また、公共工事も4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

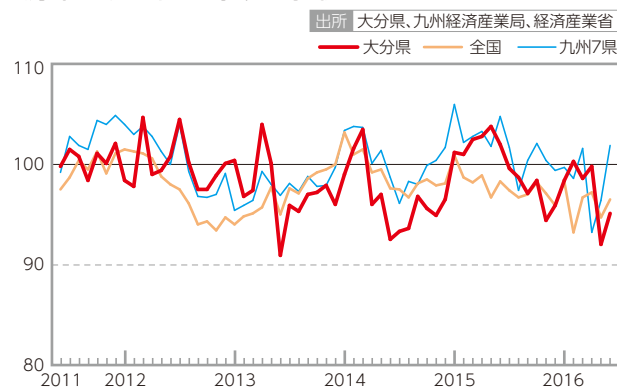
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.1と前月比3.4%上昇しました。

主要業種では、半導体集積回路が減産となった電子部品・デバイスが低下したものの、農産物の生産が増加した化学・石油製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

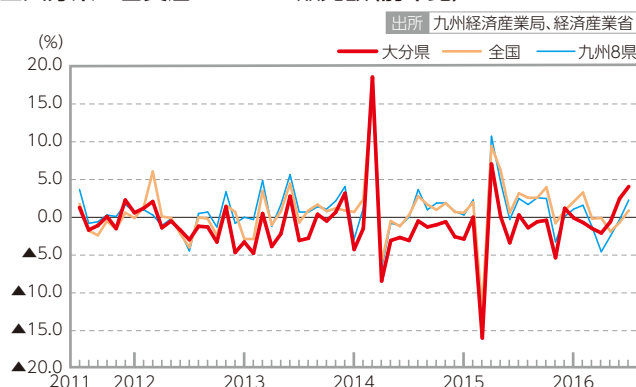


2.個人消費 | 持ち直しの動きがみられる

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.1%増の105億円となりました。

熊本地震の復興需要等を背景に、夏のクリアランスセールが好調で、主力の衣料品や飲食料品が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きがみられます。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





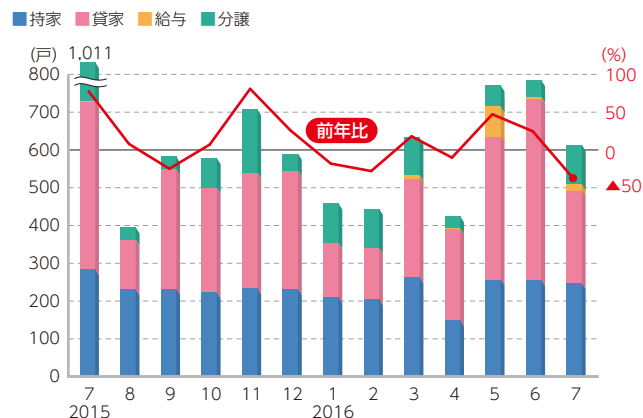
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比38.9%減の618戸となりました。

「給与」を除く全ての項目で前年を下回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



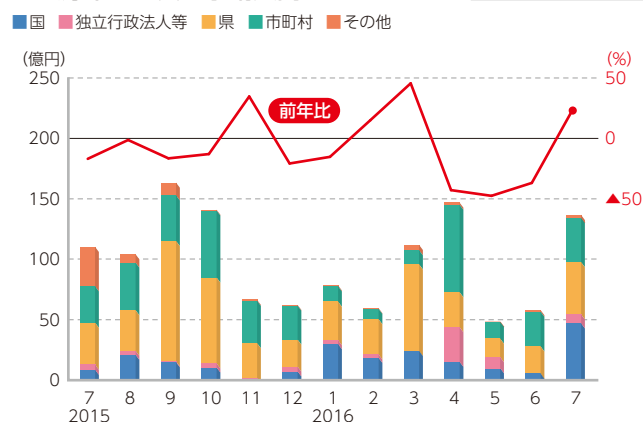
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比13.5%増の337件、金額が同24.0%増の138億円となりました。

発注者別では、ダム建設工事の大型案件があった「国」が前年を大きく上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



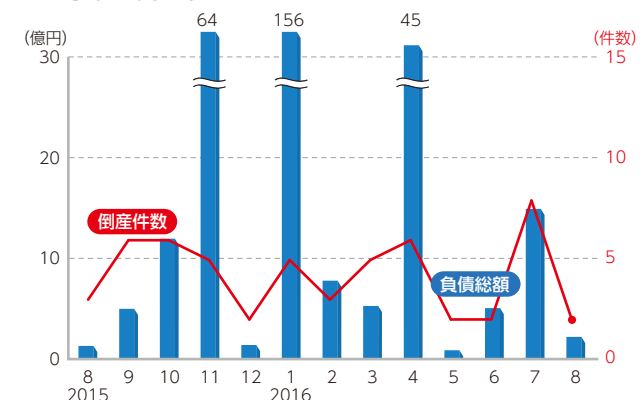
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額は同68.2%増の約2億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

宮崎県の景気は、弱含みの兆しがみられます。

生産活動は、食料品が上昇する等底堅く推移しており、住宅建設についても2ヵ月ぶりに前年を上回りました。一方で、個人消費は主力の衣料品や飲食料品が前年を下回ったほか、公共工事が7ヵ月ぶりに前年を下回りました。

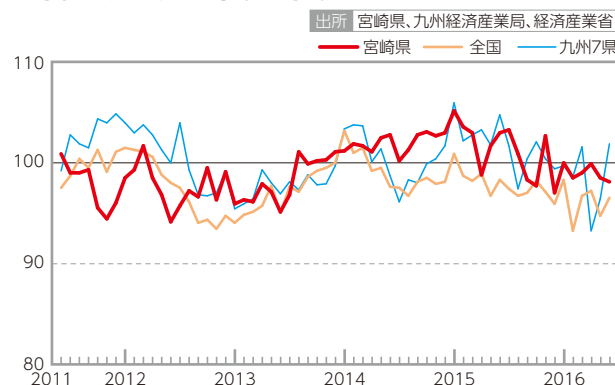
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.1と前月比0.4%低下しました。

主要業種では、化学が低下したものの、食料品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

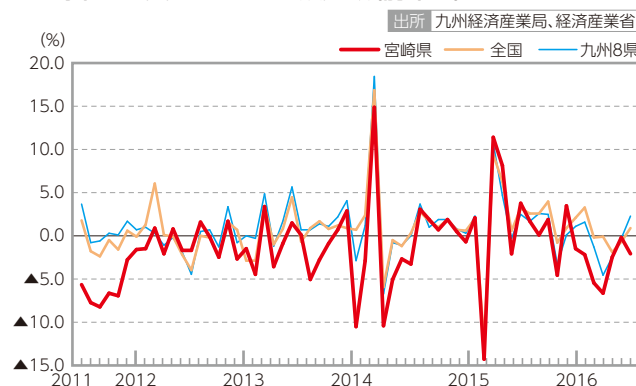


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.1%減の66億円となりました。

消費マインドは震災の影響がほぼ解消したものの、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





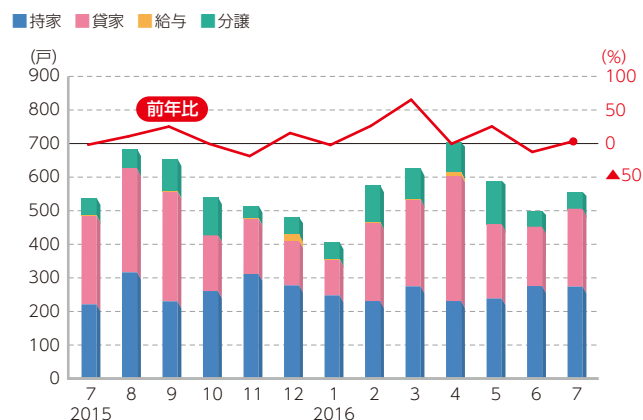
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比3.3%増の560戸となりました。

「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「持家」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



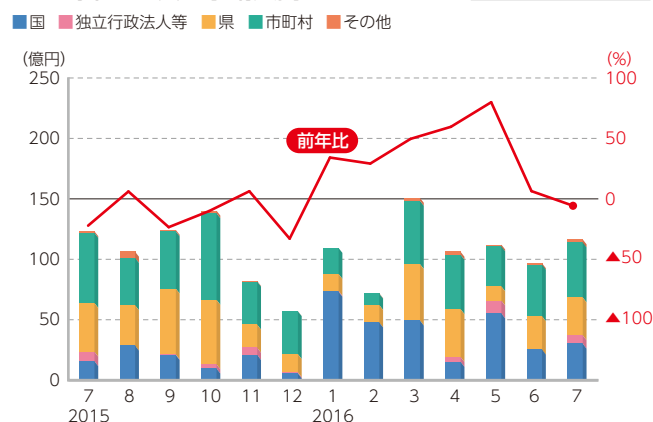
4.公共工事 | 7ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比2.3%減の388件、金額が同5.4%減の117億円となりました。

発注者別では、トンネル新設工事があった「国」等が前年を上回りましたが、「独立行政法人等」「県」「市町村」が前年を下回り、全体でも7ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額は同49.8%減の約1億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 底堅く推移している

鹿児島県の景気は、底堅く推移しています。

公共工事は6ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、生産活動は、窯業・土石製品が上昇する等、底堅く推移しています。また、個人消費についても、夏のクリアランスセール等が好調で、主力の衣料品や飲食料品が前年を上回ったほか、住宅建設が4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

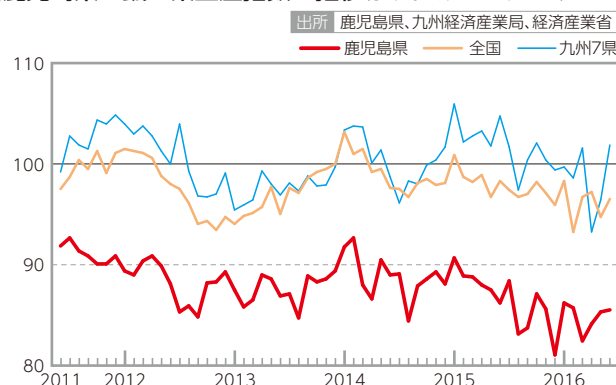
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は85.4と前月比0.2%上昇しました。

主要業種では、食料品が低下したものの、窯業・土石製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

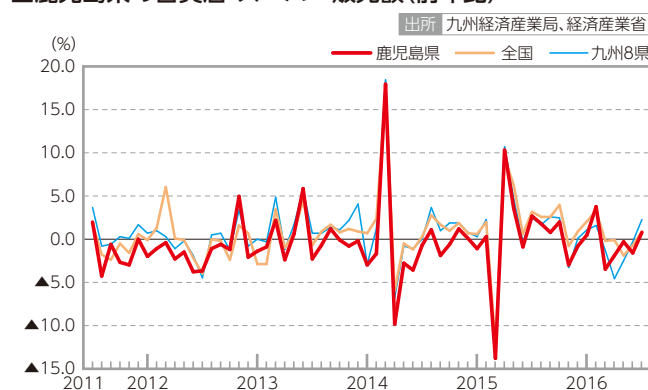


2.個人消費 | 底堅く推移している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.8%増の144億円となりました。

消費マインドは震災の影響がほぼ解消されたほか、夏のクリアランスセール等が好調で、主力の衣料品や飲食料品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





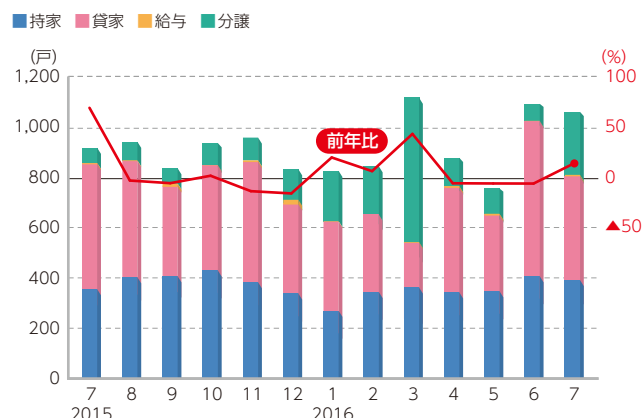
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比15.6%増の1,067戸となりました。

「貸家」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



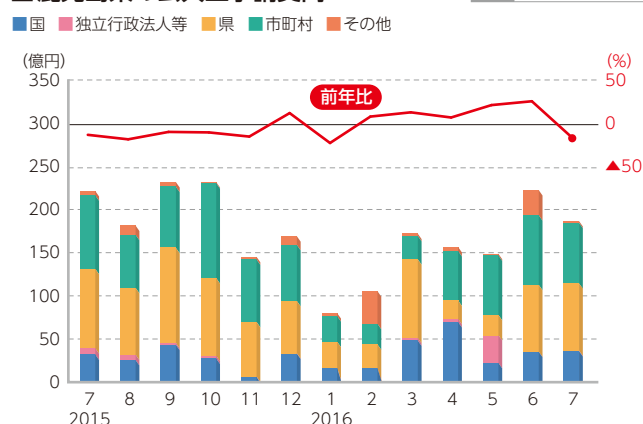
4.公共工事 | 6ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.1%減の709件、金額が同15.7%減の188億円となりました。

発注者別では、空港事務所改修工事があった「国」が前年を上回りましたが、「独立行政法人等」が前年を大きく下回り、全体でも6ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比20.0%増の6件、負債総額は約184億円となりました。

ゴルフ場経営で約167億円の大型倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

